年表 1996年～1997年

1996年

- ▼1月 「大宮にJリーグを呼ぼう会(代表 松沢喜久夫)」(以下「呼ぼう会」)が大宮市サッカー連盟有志により発足する。
- ▼2月 「呼ぼう会」がJリーグ招致へ向けPR活動を始める。
- ▼4月27日 「呼ぼう会」がJリーグ招致へ向け署名活動を始める。
- ▼5月28日 「呼ぼう会」が大宮市に招致の要望書を提出する。
- ▼6月17日 「呼ぼう会」がNTT関東支社にJリーグ参加を要望する。
- ▼7月 ナショナルトレーニングセンター・Jヴィレッジ(福島県)オープン
- ▼8月1日 NTT関東支社がNTT関東サッカー部のJリーグ参加を決定する。
- ▼8月29日 新藤大宮市長が「Jリーグの設立趣旨に賛同し、NTT関東サッカー部が大宮市をホームタウンとすること並びに、地域密着型のスポーツクラブの確立に向け、Jリーグの基準を満たすホームゲーム等に協力し、また、関係機関への協力要請も含め、NTT関東サッカー部を全面的に支援することを承諾する旨を、社団法人日本プロサッカーリーグへ提出する。
- ▼9月5日 土屋義彦埼玉県知事が承諾する。
- ▼9月12日 Jリーグ2部参加条件を確認するJリーグによる第1次ヒアリング ◇会 場 大宮市役所・大宮公園サッカー場・クラブ事務所他 ◇実施者 森 健兒(Jリーグ専務理事)他3名 ◇内 容 自治体の意思確認 (対応:新藤市長・竹橋理事・竹折企財部次長)
- ▼9月22日 Jリーグ2部参加条件を確認するJリーグによる第2次ヒアリング ◇会 場 Jリーグ事務局(港区虎ノ門2―10―1) ◇実施者 川淵三郎(Jリーグチェアマン)・小倉純二(JFA専務理事)・森 健兒(J専務理事)・木之本興三(J常務理事) ◇内 容 大宮市へのヒアリング(対応:新藤市長・竹折企財部次長) クラブ代表者(対応:中田オーナ)へのヒアリング 埼玉県サッカー協会代表へのヒアリング
- ▼11月 第16回FIFAワールドカップフランス・アジア地区第3代表決定戦(マレーシア)にて、イランを延長Vゴール3―2で下し初出場を決める
- ▼12月11日 日本サッカー協会理事会がNTT関東サッカー部のJリーグ2部参加チームに決定する。

1997年

- アメリカでメジャーリーグサッカー開幕
- ▼5月 第17回FIFAワールドカップ日韓共催決定
- ▼6月 欧州選手権1996開催(イングランド)優勝はドイツ
- ▼7月 アトランタオリンピックでU―23日本代表が優勝候補ブラジルを破るが8強入りならず 日本女子代表もグループリーグ敗退
- ▼12月 Jリーグ再編による、J2リーグを平成11年度より実施の方針が発表される。
- ▼12月 ワールドカップ国内開催地10自治体決定

当時を語る Vo.2

旧大宮市長 新藤 享弘 氏

大宮アルディージャが誕生した当時の様子を話していただきたいとのことですので、沢山の事柄のなかで、特に印象深かったことについて二つ三つお話させていただきます。

先ずは、埼玉県サッカー協会の倉持さんに大変お世話になったことです。あの方のご尽力がなければ、大宮にJリーグチームの誕生はなかったと思います。

平成9年の春、Jリーグサッカーの大宮市への誘致のお話があると同時に、地元の松沢さんを中心としたサッカー関係者からも強い要望がありました。私も大宮にプロサッカーチームが誕生することは街には活気を、市民の皆さんには夢をもつことが出来るものと思い、当時の土屋知事さんのところへ何度も出向き、お話させていただきました。

Jリーグの本部で、川淵チェアマンからホームタウンとしての詳細なヒアリングを受けたときは、Jリーグは理念も素晴らしいが厳しいところでもあるなと思ったことを覚えています。川淵チェアマンからは多くの課題を与えられましたが、多くの関係する方々の協力を得られたことと、大宮市議会が全会一致で支援していただけたことが大きな力でした。そして、川淵チェアマンをお呼びしてのシンポジウムを開催するなど、全市をあげての取り組みがプロサッカーチームを大宮に呼ぶことが出来たものと思っています。

いよいよNTT関東サッカークラブがJリーグクラブとしてスタートするにあたり、クラブ名やマスコットが議論になりました。クラブの関係者が何度も市長室に集まいて現在の後援会の初期体制と基盤が確立されました。

どちらかというと野球好きでサッカーは半熟でしたが、Jリーグ再編の動きの時、NTT埼玉支店に在籍していたはずみで会社側の担当となり、試行錯誤の中で今思い浮かぶ多くの〝顔〟の方々に激励・叱咤されながら、さまざまな感動をご一緒出来たことは忘れられない思い出であります。

そのような中で大いに肝を冷やした失敗談を1つ、98年3月クラブ名を「大宮アルディージャ」に決定し、数日後浦和レッズとのプレマッチで初めて使用することにしてGM(現なでしこジャパン監督)、佐久間コーチ(現ヴァンフォーレ甲府へ行き、担当事に強く新加入選手の出場を折衝したところ、届け出にミスがあったことが判明、修正して海をを得たものの、地獄と天国の気分を味わった出来事も今は懐かしい思い出です。

ーにも影響する状態にあると聞き、佐々木監督(現なでしこジャパン監督)、とにかくJリーグを誘致した以上は、そのための環境整備は責任をもって行なければと、必死な思いであったことを思い出します。

そんな思いがあるから、今でもJ2当時のユニホームを大切にしております。これからも大宮アルディージャのために何かお役に立てることがあればと思うとともに、常勝チームになることをご祈念しております。

大宮アルディージャサッカークラブ設立準備室 統括担当部長 片白 大雄 氏

当時を思いを馳せた時、まず思い出されたのは大宮アルディージャのJリーグ参加に尽力された方々の〝顔〟でした。皆様の〝顔〟から当時の出来事にスキップしていきます。

ホームタウンとして招致を頂いた県内地域、活動の中心となった〝呼ぼう会〟、県・旧大宮市各機関・団体、サッカー関係機関・N関OBそしてJ2参加決定後の〝支援する会〟等の方々、改めてその節の御礼を申し上げます。

97年12月までの約1年半はJリーグ参加の承認を得るとりくみ、その後は支援・運営体制の確立に向けたとりくみでありました。

96年12月Jリーグ再編方針をふまえ、呼ぼう会のPR活動、署名活動、行政・NTTへの要望活動等の波状的な活動と各機関・団体のとりくみは、さまざまな課題・基準をクリアする原動力となり、97年12月のJ2参加決定となりました。参加決定を受けて支援する会のとりくみはさらに強化され、98年11月の設立総会において、一緒に検討させていただきました。その結果、大宮市のマスコットである「リス」をイメージして、「アルディー」にしようということになり、クラブ名「大宮アルディージャ」が誕生したのです。

さて、プロサッカークラブの大宮アルディージャは誕生いたしましたが、課題は沢山あります。競技場の問題では大宮公園サッカー場を埼玉県から移管していただかなければなりません。また練習場も整備しなければなりません。何度も土屋知事や県議会の関係者にお願いに奔走しました。練習場の整備では秋葉の用地を短期間で造成するなど、とにかくJリーグを誘致した以上は、そのための環境整備は責任をもって行なければと、必死な思いであったことを思い出します。

そんな思いがあるから、今でもJ2当時のユニホームを大切にしております。これからも大宮アルディージャのために何かお役に立てることがあればと思うとともに、常勝チームになることをご祈念しております。

元NTT関東サッカー部監督 清水 隆 氏

監督を務めていた1996年、Jリーグ再編の話を聞き、J2リーグが平成11年から実施されることを知りましたが、当時、会社(NTT関東)はチームをプロ化することやJ2に参入する意思はありませんでした。しかし、Jリーグ再編によりJFLが無くなるという話があったため、その場合、アマチュアとして存続できなくなり、チームの歴史と伝統が失われるかもしれないという危機感を持ちました。

そこで、倉持氏(埼玉県サッカー協会副会長)に相談したところ、松沢喜久夫氏(大宮市サッカー連盟理事長)を紹介されました。そして、松沢氏から、大宮にもプロのサッカーチームを招致したいという構想があることを知り、話し合いを重ねた結果、会社を動かすための署名活動をしようということになりました。

水面下で有志が準備を始め、「大宮にJリーグを呼ぼう会」が立ち上げられ、NTT関東サッカー部OB会からも積極的な後押しがありました。皆様の大変な熱意と、NACK5や埼玉新聞等のメディア各局の協力により、最終的には4万以上の署名が集まり、大宮市とNTT関東を動かすことができました。

1997年8月、私は成績不振のために監督を辞任しましたが、会社はJ2参入に向け本格的に動きだしていたため、そこから1年間は、法人化プロジェクトのメンバーとして活動しました。そこではチーム名を公募・決定する作業や、後援会組織をどのようにするかといった仕事に関わりました。

振り返ると、大宮サッカー連盟、「大宮にJリーグを呼ぼう会」の皆様の協力が無ければ何も出来なかったと思います。皆様には本当に助けられました。

呼ぼう会①

「呼ぼう会」とは？

「大宮にJリーグを呼ぼう会」の通称。Jリーグ発足当時は選手として大宮市内各チームで活躍し、その後連盟に籍を置く数名が、埼玉県で2番目のプロチームを誕生させるため、大宮市をホームタウンとしての招致活動、N関のプロ化への要望をするため結成したグループ。

1996年11月中旬、旧大宮市サッカー連盟理事長(松沢喜久夫)に、埼玉県サッカー協会の倉持氏から1本の電話が入る。プロサッカーリーグの2部制について説明があり、大宮市で招致活動をするための突然の指導、12月にはNTT関東OBであり社会人連盟役員でもある小川氏(故人)からも、NTT関東サッカー部のプロサッカーリーグ参入協力要請があった。旧浦和市のJリーグ誘致活動は「‥つくろう会」。

元大宮市サッカー連盟 稲山 泰典 氏

Jリーグ誘致のための署名活動は、中学校のサッカー部をとおして署名を集めたことは覚えているのですが、私自身は街頭に立ったことはなかったと思います。ただこの運動が盛り上がった要因として、1979年ワールドユース大会が、埼玉県で開催されたことが関係していると思います。当時はまだまだサッカー後進国の日本でしたが、その日本の中で埼玉県が選ばれ国際大会が行われたわけですから…。

「呼ぼう会」の活動後、大宮アルディージャが誕生してからは、サッカー協会の方から「中学校でボールパーソンをやってくれないか」という打診がありまして、喜んで協力させてもらいました。

2007年シーズンまで、中学校とサッカー協会の担当者との連絡役と、当日のお手伝いをさせていただきました。中学校に希望をとると、人気カードに集中して、割り振りが大変だったことを思い出します。現在は、もっぱらスタンドで観戦アルディージャの勝敗に一喜一憂しています。

今後のアルディージャには、更にヨーロッパのスポーツクラブのような地域密着をめざし、優勝争いに絡めるチームになってくれることを期待いたします。

元大宮市サッカー連盟 大澤 元彦 氏

1993年(Jリーグ元年)、サッカー関係者及びファンはこの日を待ちわびていました。埼玉県でも旧浦和市で有志により招致活動が行われ実現となりました。当時私自身も、駒場開催時にボランティアとスタッフとして手伝いをしていたものの、聖地大宮公園サッカー場での開催には複雑な思いがありました。1986年から4回のワールドカップを実際に見てきたことで、世界のサッカー事情からすると、各県・各市・各町にプロサッカーチームがあることが当たり前であり、その地に住む人たちは、チームを支えていくことに誇りを持っているようであります。

誕生したプロには期待をしました。

サッカーを生きがいとしていた少年時代から、いつしか地元旧大宮市内で指導者への道に進み、私たちの〝まち〟にも私たちで支え誇りの持てるチームを持ちたいとの想いを持つようになりました。

1997年12月、当時大宮サッカー連盟松沢理事長より故田中孝会長を交えJリーグ・2部構成についてお話を聞き、我々の〝まち〟にNTT関東サッカー部を呼ぼうと、私にとっては夢のような話をした集まりを今でも鮮烈に覚えています。

連盟有志で「呼ぼう会」を立ち上げ、署名活動を中心にPRを始めると、特に少年団関係者の盛り上がりは予想をはるかに上回るものでした。街頭での活動は十分にその機動力を発揮し、事務局のコピー機を壊してしまったことは特に印象深いです。期待の大きさに意義と責任を感じ、要望書の提出時には報道関係者の多さにも驚き、手ごたえ十分とますます夢が膨らんでいきました。夢が大きくなる中で、海外の選手を身近に見ることが出来るようになるのかとおぼろげに思い、サッカーの文化が十分根付いていない当地大宮で、プロ誕生は大きな影響をもたらしていくことが想像され、期待は増すばかりでした。

これからも常に〝まち〟の人たちから〝地元の誇り〟と思われるようなチームを目指していただきたいです。

元大宮市少年サッカー指導者協議会事務局長 塩野 正昭 氏

当時、大宮にJリーグのチームを誘致することが出来るとは全く想像もしませんでした。

お話が出た時も、夢で終るのではないかと思っておりました。その誘致に関する運動が具体化してきた時には、やってみようかと思いましたね。

具体化に向けて話し合いが行われた時には、まず会議の場所を探すのが大変でしたが、本郷の建設会社にフラッと寄った際、何気なく従業員の方に「2階の部屋が使えると良いな」と言ったところ、自由に使ってくださいとの事でした。喜びましたね。使用料も要らないとのことで、その後アルディージャ誘致に関しては、会議の場所として使わせて頂く事になりました。

誘致に関して特に気になったのが、大宮駅での署名運動中において皆さんから、「本当に実現するの?」、「浦和があるのにできるわけないでしょう!」、「何で大宮なの?」等々いろんな事を言われたことでした。でも署名は、ありがたかったですね。

ついに夢が実現したんですから、当初誘致を持ち出された方々に感謝です。

現在、サッカー文化は飛躍的に発展してきました。大宮アルディージャは強いチームを目指すのはもちろんですが、より地域に密着したクラブとして、現在のサッカーキャラバン等の取り組みや選手の地域貢献活動等をもっと多くの人にアピールして欲しいですね。そして欲を言うなら、常に上位にキープして頂いて、大宮の名を永遠に知らしめて欲しいです。浦和に負けないように…

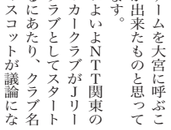
がんばれアルディージャ！
さいたま市
サッカー協会
北部支部

厚生労働省認定 社内検定
「トイレ診断士」派遣します!!
㈲アメニティリース
TEL048-664-0489
FAX048-664-0494
http://www.amenity-network.net/

グレージングバー ジャルム
愛花夢
さいたま市大宮区大門町
2―87
☎048-641-0824

ナイスプレー！
ナイスファイト！
アルディージャ！
㈲つじ 辻旗店
さいたま市大宮区仲町
2―34
☎048-641-0762

LAFORET SHIMIZUEN
ご婚礼ご宴会に
大宮ラフォーレ 清水園
埼玉県さいたま市大宮区東町2-204
大宮氷川大社参道
TEL.048-643-1234 FAX.048-645-4321
http://www.shimizuen.co.jp/

PIZZA&PASTA T.T.Cucina
ティ・ティ・クッチーナ
TEL:048-643-0701
会員証(グッズでも可)提示で、お会計より10% OFF
試合の日、勝利すると15% OFF


※この欄に広告掲載希望の方は、事務局（裏面に掲載有）にお問い合わせください。